

# 第43回埼玉女流工芸展特集そして出発号

平成から令和へ

夢を追い続け… より高く… より美しく…

# 和かんむり



SAITAMA LADIES KOUGEI ASSOCIATION

<http://joryukougei.jp>



審査員審査講評  
第44回展お知らせ  
和

なごむ・やわらぐ  
それぞれの祈りの形



上田知事をお迎えして

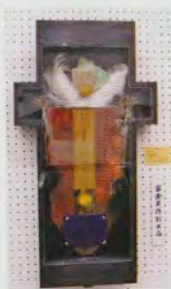
埼玉県女流工芸作家協会

No. 33



# 第43回 埼玉女流工芸展審査評

鳥山 玲 日本画家  
O美術館館長



日本画  
「ミックスドメディア」

この度初めて女性作家のみの工芸作品展を拝見致し審査講評する貴重な機会をいただきました事、大変に嬉しく光栄でありがたいことと存じました。

一自らの思いを持って育み表現として創造創作に向かい、作品を制作する一言葉にすると簡単簡素にまとまりますが、一つの作品が出来上がるまでには実に前途多難…多くの目には見えない様々な事象が絡み支え、いかにそこから思いを伴い汲み上げて有形無形の多様自在な手法により生まれ出る作品と成り日の目を見る…さらにお披露目し多彩な皆様方との交歓自学を得る。

そしてこの、不思議で神秘的な誠に得難い体験が心の深いところに刻まれてゆきます。

弛みなくこの経験を積み重ね、ご自身の自分史の“誇れる宝”として、これからも大切に慈しみ育てていただきたいと切に希っております。

素材への思いやこだわり、技術的研究や修練、色彩や形態フォルムとの協奏などを通じて、決して楽しい喜びだけではない苦悩や苦闘葛藤といった忍耐や激しさも内包された作品は、見る人にも無言に訴え語りかけてきて制作の意味や重さが伝わってきます。

そしてどの作品にも女性らしい細やかな優しさが通底していて、明るい希望を与えてくれます。

皆様方の息長い益々のご精進を期待いたします。

## ②埼玉女流工芸大賞 染「春海の記」

海に対する思いに分け入り、自然に対するイメージを文字や博識、人間とのかわりおいても考察反映した作品。豊かに内在する連波翻波や深淺の相克なども、春陽の光の下に象徴的にまとめあげた。布材のしなやかな持ち味も生かされ深い内容を色彩で大胆に表現した力量は豊かで素晴らしい。

## ③高澤英子記念賞 木目込「ふるさとの海」

ノスタルジックな心象を反映した風景を、甘さを抑え大胆に切り結び構成した伸びやかな作品。木の材質の持つ硬さ柔かさ両面の特質を生か

し、さらに布材の木目込みにより一層溫柔な表情で充填させている。水平の流れの中に屹立する白い灯台は、作家の存在と重なって見える。

## ⑤埼玉県教育長賞 染織「保己一の記憶」

思惟的な思い入れの深さが、心地よいリズムの緊張感を伴い訴えかけてくる作品。知的な計画性が感じられ、保己一に因む色彩や経緯糸の選択設定など、人物人間像にいかに向きあうことができるか、その心砕いての様々な表現の試み醍醐味のあり方を教示している。

## ⑥埼玉県美術家協会賞 漆「ひまわり」

深みがあり、抵抗感のある強い作品。画面は漆の持つ堅牢な特質に負うところが大きいかもしれないが、モチーフとした向日葵の植性のような生命力が秘められている。モチベーションと対峙する熱い気持ちが魅力的に伝わってくる。

## ⑩行田市市長賞 染織「花織の帯」

清々しく奥ゆかしいながら凛然とした光彩を放つ作品。深みを秘めた同系統の色彩の繊細な諧調の変化起伏が美しい。素材の持つ微妙な持ち味と、それを活かす技術との相乗的なハーモニーにはゆるぎない研究成果がなせる安定感とさらなる飛躍を予感させる。

## ⑫NHKさいたま放送局賞 染「天まで届け」

ゆったりとおおらかに軽みの彼方に誘ってくれる作品。大きな空間のそれぞれを繋げ風景との調和を試みながら立ち昇っていくような白い円形は、夢の象徴か。浮遊体の運動や拡散リズムの様々な連作の展開も期待したい。

## ⑮埼玉新聞社賞 押花「トキ大空を舞う」

トキの様々な姿が表され、トキに寄せる切実な思いが伝わってくる作品。難しいモチーフを素材の選定による明快な設定表現が平明な親和性を持たせた。トキに対する畏敬と礼賛による情熱の伝播を覚える。

## ⑰毎日新聞さいたま市局賞 押花「新しい時代へプロローグ」

清楚な華やきを感じさせる大胆な作品。様々繊細な素材を丁寧に組み合わせ組み合わせ盛装に作り込む創意に、心の躍動感を表現、技術に裏打ちされた幅広く奥行きのある表現力を用いて融合と調和の結実を目指した意欲を評する。

## ⑲奨励賞 刺繍「星空と花の世界」

エキゾチックな詩情を湛える大きな画面。素朴な風合いが醸し出す夢を感じさせる星と花の世界のハーモニーの調和は、どこな懐かしく温かい世界に誘ってくれる。

## ⑳読売新聞さいたま支局賞 押花「君想う」

春の宵に、いにしへの黒髪豊かな後ろ姿の姫君と月としだれ桜を配した作品。自然素材が織りなす画面全体から立ち上がる巧みな綾と調べ。抑制の効いた高次元の浪漫性が一層神秘的に姫の思いへの想像をかき立てる。素材で身近な素材を用い洗練を極める確かな表現力を讃えたい。



① 埼玉県知事賞：藤井梨子



③ 高澤英子記念賞：中村成子



④ 埼玉県議会議員賞：源 彩子



⑤ 埼玉県教育長賞：反町真弓



⑥ 埼玉県美術家協会賞：桑原政恵



② 埼玉女流工芸大賞：栗原みどり



⑦ 埼玉県国際交流協会賞：山口素子



⑧ 埼玉県文化団体連合会賞：小林銀子



⑨ 埼玉女流工芸作家協会賞：木澤範子



⑩ さいたま市長賞：藤木節子



⑪ 行田市市長賞：清原めぐみ

⑫ NHKさい



⑭ FM NACK5賞：小久保みどり



⑮ 埼玉新聞社賞：仁部弥生



⑯ 朝日新聞総局賞：近藤裕子



⑰ 毎日新聞さいたま支局賞：慶田和子



⑱ 読売新聞さいたま支局賞：小林和歌江

奨励賞：Kazal Re



三上 亮 東京藝術大学美術学部陶芸科准教授  
陶芸家



陶「水指」

埼玉女流工芸展の審査を終えて

生活のなかから生まれる、日常の暮らしに必要な工芸品。それらは機能とともに美しさも同時に兼ね備えています。歴史的にみて「工芸」と呼ばれる以前からそうであるように、使い手が即、作り手であるようなことが当たり前になる風土において女性の果たす役割は大変大きいと思います。この度初めて埼玉女流工芸展の審査会において皆さんの作品を間近に見る機会を得て感じたこともまさにこのようなことでした。日常の暮らしのなかから生まれた優しく謙虚な身の丈の制作、伝統的工芸技術の追求、真摯な制作姿勢を感じるもの、また逆に作品制作という非日常を楽しんでいるような作品、さらに約束事にこだわらず制作した現代的な可能性をみいだせるものなど、さまざまな方向性と個性をみてとれて大変楽しい会場でした。現代はまさに女性の時代と言われます。今、男性、女性などと分けて考えるのは、あまり意味をもたないのかもしれませんがアートの世界において、また工芸分野において女性の様々な感性が今後の時代を築いていくように思います。平成の最後、新しい令和の時代も女性の価値観や発想力によって変わっていくことは確かなことではないでしょうか。皆さんそれぞれの工芸に対する考え方や暮らし方が形になり、自ずと説得力のある個性的なものが生まれてくるそんな時代になってほしいと思います。

①埼玉県知事賞 陶「搔落し葉文扁壺」

堂々とした口のひらいた姿の素地を成形。黒の化粧土をかけ、さらに白化粧することにより幽玄な奥行きが出ています。化粧にギボウシを線で搔き落とし、さらに蝶の部分で彩色して、美しい色の蝶が舞うことにより空間を作ることに成功しています。技法と加飾がうまく噛み合っただけでなく、構図もなかなか決まっておりました。大変安定感のある落ち着いた趣のある作品に仕上がっています。

④埼玉県議会議長賞 陶「墨弾き文禪角鉢オドリコたちは何の夢を見るのか」

マットな黒の地とデザイン化されたモチーフの色彩の対比が目飛び込んでくる斬新な作品です。技法から見ると油性ペンが水性の下絵具を弾くことを利用して筆ではできない細い線を効果的に使っている点に作者の繊細な感性をみることが出来ます。欲を言うとは大胆な角鉢の造形と繊細な抜いた墨はじきのデザインとの関連性が出てくると、さらに作品の完成度が上がりこの仕事の説得力が増すように思います。

⑦埼玉県国際交流協会賞 モザイク「連子格子に浮き雲」

日本的な美意識と現代性をうまく融合させ落ち着いた雰囲気の中にも作者の感性が訴えかけてくる秀作である。日本の木造建築に見られ



先生・ご来賓を囲んで

る連子格子をモチーフに浮雲を散らすという、なんとも粋な感性を感じます。浮雲の部分は七宝や鉾物などを使い凝ったものとなっています。モザイクという珍しい分野でこのような作品が生まれていることがたいへん驚きであり、まだまだ素材の組み合わせによって新たな工芸的作品制作の可能性を感じました。

⑧埼玉県文化団体連合会賞 人形「空手(兄弟で頑張る)」

空手という気合いと力のみなざる肉体をイメージしますが、幼い兄弟の二体のこの人形から感じられるのは成長を見守る優しい視線ではないでしょうか。お孫さんの空手全国大会出場場面を表現し、空手着も本人が着用していたものを使って制作されているそうです。この作品では、お兄さんの視線、弟さんの口元の表現がしっかりとされていて隠れた魅力となっています。

⑨埼玉県女流工芸作家協会賞 七宝「親しみの窓」

一見して非常に完成度が高く美しい仕上げができています。作品から受けた色彩の上品な組み合わせは作者のもっているセンスの良さを語っていますが、発想の元は、パン屋さんの朝の情景と聞きちょっと意外でした。日常の一コマ、小さな気づきから作品が生まれるのだと思います。それをきちんとしたものにと落とし込むことは容易なことではありません。そこを難なくこなしている力量ある優品と言えるでしょう。

⑩さいたま市長賞 ステンドグラス「私を探して森の妖精たち」

ステンドグラスの技法では難しい立体造形に挑戦してうまく形にし、そこに豊かな森の情景を表現した照明器具で、使う場所をイメージさせる楽しさに満ち溢れている作品です。照明として使用しない状態は油絵のような重厚な森の緑を感じさせますが、照明として明かりがつくと上部から光が漏れるように工夫されている点、実用を兼ね備えた魅力ある作品となっています。

⑬テレ玉賞 人形「愛おしむ」

和服姿の女性が子供を抱きあやしている姿がなんとも柔らかな愛情を感じさせる秀作です。小品ながら繊細な表現で子に対する無償の愛情を表現することに成功していると感じました。

⑭FM NACK5賞 陶「早春」

非常に力強い存在感を感じる作品です。単純な形、意志の強い思い切りのよい彫り模様で葉を表し、釉薬をズブ掛けしている。単純な制作工程に任せることで生まれた美を感じる作品となっています。

⑯朝日新聞さいたま総局賞 籐「岩の声」

これは一体何だろう、と言う興味をひく抽象的な作品。胡桃の朽木の魅力を引き立てるように籐の仕事が輪郭を形作っています。タイトルから芭蕉の俳句が浮かんできました。作品と題名の関係がとてもよくマッチして効果を上げています。

⑰新企画テーブルメイク優秀賞 陶「盃と銚子」

新企画テーブルメイク、食卓を演出するという目で引いた酒器のセットです。従来の銚子や片口にとらわれずに青銅器から発想した釉薬をつけています。土の扱い方、手離れがきれいで、ともすると野暮ったくなりそうな手びねりの器がすっきりと洒落たものとなっていて好感が持てます。

受賞者コメント

埼玉県知事賞 藤井 黎子

43回女流工芸展では、思いがけない大きな賞をいただき心定まらない日々でした。そこで作陶の流れを振り返って見ました。扁壺はひも作りでつみ上げ途中余分な土は、けずり成型しました。全体を黒化粧の後白化粧流し掛け一部二度かけて急乾燥です。ギボウシのかき落しの時緊張したのでしょうか葉の大きさが足りないと思いましたが、焼成して見るとやはり葉のゆらぎが表現されてなく、これからの課題にしたいと思いました。

女流工芸大賞 栗原 みどり

第43回展において女流工芸大賞を頂き有難うございます。大変光栄に思っております。作家、石牟礼道子さんの人生を追悼する事が制作のきっかけとなりました。海・人・食・草花を愛し、時に海は津波となり海水浴と姿を変え交錯します。光る波間に命の尊さ、希望を込め語りたい思いがありました。今迄以上に大きなパネルで課題が山積でした。精進してまいります。ありがとうございました。

高澤英子記念賞 中村 成子

この度は高澤英子記念賞をいただき、ありがとうございます。今回の作品は子供の頃遊んだ海をテーマにしました。近くに灯台があり夏休みには毎日海で遊びました。なつかしい思い出です。今は海岸道路が出来たとか、私が遊んだ砂浜はどの様になっただろうか。この作品を機会に思い出探しをしたいと思っています。女流工芸とふる里の海に感謝申し上げます。



13

陶「盃と銚子」 テレ玉賞：正野芳子



20

新企画：テーブルメイク優秀賞：柴山洋子



## 次回予告

### 第44回 埼玉女流工芸展

埼玉県立近代美術館

令和2年4月23日(木)～4月26日(日)

#### 〈招待審査員プロフィール〉

(敬称略)

#### 田口 義明

・日本工芸会正会員  
・石川県立輪島漆芸技術研究所講師

#### 三田村 泉美

・平成記念美術館ギャラリー学芸員

各先生方のホームページをご覧ください。

#### —— 特別企画 ——

ART LIFE on THE TABLE

日々の暮らしを彩る

「テーブルコーディネイト&  
テーブルウェア」

いろいろな素材で

個性あふれる作品募集します



## くらしの知恵

### 炭の消臭

千種 和子

炭は小さな穴を多数持ち、浄化作用や調湿効果があります。その外にも消臭効果があります。炭によって取れる臭いが違います。

私の染色はローケツ染ですので何時もお部屋が臭います。使用している本人はあまり気にしませんが、来客に言われましたので、炭を部屋に置くことにしました。「トイレ」「冷蔵庫」また、お湯で洗って陰干すると、効果が戻りますのであまりお金もかかりません。

素敵な入れものに入れてもお部屋のディスプレイにもなります。炭には色々な種類があります。長期使用は劣化しますので、時々交換して、快適な生活をさせてくれる炭に感謝して上手に利用して暮らしましょう。

## 編集後記

・1年があっという間に過ぎ今という断捨離をしている所です。(K.I)

・師走を迎えたくさんの感謝と反省をして今年を振り返る頃となりました。(R.Y)

・令和となった2019年師走  
台風の惨禍や、ラグビーWカップ、海の温暖化、ペットボトル・ポリ袋・ストローなど、世の中が変わる事を実感する日々です。(M.K)

・暑い秋の日があったかと思えば早くも師走。1年がまるで7～8ヵ月のようです。なんとかしなくては…。(K.S)

・改元の年、令和  
新しい夜明けに自分を見なおす機会となりました。来年は、自然災害が起こりません様に祈る今日この頃です。(S.T)

・令和に改元され8ヶ月経過。  
年々歳々時の流れが忙しすぎて何事も心に響かない。望みとしては、じっくり取り組める時間が欲しい。(T.T)

## 研修旅行



### 軽井沢散策

令和元年11月18日(日)

碓氷軽井沢インターから約13分、日本画家千住博美術館に着きました。新作水墨画シリーズ「水の記憶展」が展示されていました。明るく開放感のある建物、森の中を散策するような気持ちの良い場所でした。旧三笠ホテル、西洋式の木造ホテルで家具などは美しく彫刻されており日本の彫刻の技術の素晴らしさを感じました。お昼は森の中のレストラン「こどう」でおいしくいただきました。山の景色も赤く染まり、とても美しい紅葉を楽しみました。(5部 中村成子)



## 「風のかたりべ」 国際野外の表現展・サイトスペシフィックアートと地域創造

当会本部高澤記念館の庭の一角に自然な木々や空気と融合するかのよう展示されているオブジェ——それは、岩城和哉+東京電機大学岩城研究室の制作による作品「風のかたりべ」です。

農業用のFRP(繊維補強樹脂)線材10本で編まれている球体で、表面に鏡面パネルが取り付けられ、細いワイヤーで吊るされています。軽量なので風が吹くとゆったりと回転をはじめ、鏡面パネルは太陽の光を反射し、周囲の空や緑や地面の色を写します。球体は、季節の移ろいの中で多様な表情を見せ、その場所固有の物語を私たちに語りかけてくれます。

こういった野外表現の展示はこれからも続きます。

・表現展会場は東京電機大学鳩山キャンパス・丸木美術館・高澤記念館(2020年7月31日迄)



## 籐・染・織の手しごと

令和元年10月16日(休)～27日(日)埼玉伝統工芸会館ギャラリー

女流工芸作家協会三人展【奥津玲子(織)、清原めぐみ(染織)・土橋恵(籐)】“籐・染・織の手しごと”を開催しました。

それぞれの作品が並び、3人の個性と主張がともきれいに調和された展示会となりました。

三田村先生御夫婦や小川町町長さん、遠方から会館にいらした方々にたくさんのお言葉を頂きうれしかったです。これからの制作に生かしていきたいと心に強く思いました。

### 籐・染・織の手しごと

～女流工芸作家協会三人展～

会場「埼玉伝統工芸会館 ギャラリー」

埼玉県立女子大学 4階 401101号

会期：2019年10月16日(金)～27日(日)

午前10時～午後6時(入館日 10月17日(土))

観覧料：無料

問い合わせ：18-17-18-19-20-22-23-24-25-26-27

029-262-2222

029-262-2222

029-262-2222

029-262-2222

(3部 土橋 恵)

## 定期総会

令和元年7月1日

## 浦和コミュニティセンター会員出席のもと

定期総会が開催されました。

## 「文化振興のつどい」2020年2月7日(金)埼玉会館

■ With youさいたまフェスティバル2020年2月7日(金)・8日(土)・9日(日)

埼玉県男女共同参画推進センター



## くりつば 籐と私

気軽に入った籐教室でしたが、あっという間に30年過ぎていました。

デザインから型作りそして編みはじめます。一目一目編んでいきますが悩みながら苦しみながらそして楽しみながらの制作です。

山ぶどうやくるみの樹皮など、自然素材をとり入れた作品も私は好きです。

次回は何をしようか考えるのも楽しみの一つかな?これからも自分なりの作品を作っていきたいと思います。

3部 及川きみ子

表紙・会場コーディネイト———平成から令和へ———

藍染スクリーン「風光る・希望」滝沢布沙